



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 星 行夫
幹事 吉野 彰芳
SAA 佐藤 政司
会報小委員 長 遠藤 洵

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務局 TEL/FAX (0246) 56 - 3473
○例会場 ホテルミドリ E-mail:info@iwakinakoso-rc.jp

2022 - 23 年国際ロータリーのテーマ
イマジン ロータリー

ゲスト
勿来地区体育協会理事長 藤堂 隆夫 様

ロータリーソング 奉仕の理想
— 今月はロータリー財団月間です —

ロータリーの行動規範
湯目 浩 会員



◎会長挨拶—星 行夫会長

こんにちは。まずは、コロナの話になりますが、昨日の福島県内の感染者数は2ヶ月ぶりに2,000人を超えました。いわき市も146人となっており、徐々に増えてきている状況です。これまでの経験から、感染防止は日頃からの衛生管理とワクチン接種しか方法はないみたいですので、着実に励行することを心掛けたいと思います。さて、日曜日にはいわきFCがJ3で優勝しました。大変嬉しく、誇らしいことと思います。来シーズンよりJ2でプレイすることになります。競技場の改築等、J2対応の課題があるようですが、いわき市民は双葉地区の町村と一緒にこの地域シンボルとして、支え盛り上げてゆく必要があると思います。ロータリークラブとしての支援については思い浮かびませんが、何か要請等が来ましたら前向きに協力をして行きたいと考えております。今週の12日、13日は地区大会となっております。参加される方はご準備の方宜しくお願いいたします。例会ですと、地区大会終了後、帰ってきてから懇親会等がありますが、今回は取りやめますので、ご理解のほどお願いいたします。本日は外部卓話として、勿来地区体育協会の藤堂さんをお迎えしております。勿来地区体育協会の活動等についてお話が伺えると思います。藤堂さん、宜しくお願いたします。以上簡単ですが、挨拶といたします。

◎幹事報告—吉野彰芳幹事

- ・国際ロータリー事務所より2022年-23年度補助金管理セミナー開催のお知らせが届いています。
- ・地区大会青少年奉仕活動発表及び青少年会議のお知らせが届いています。
- ・今週12日、13日は地区大会です。当日植田から乗車される会員は朝6時出発となっております。遅れないように宜しくお願いします。

◎各委員会報告

◇出席委員会—湯目 浩小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。

◇スマイルボックス委員会—柏原達之小委員長

- ・勿来地区体育協会理事長 藤堂隆夫様の卓話を歓迎して。星会長、林副会長、斉藤会長エレクト、吉野(彰)幹事、鈴木(敏)副幹事、小澤、鈴木、高橋(伸)、清水、佐藤(政)、木村(義)、影山、渡邊公平バスタガバナー、吉野(嘉)、高野、大平、川口、鈴木(修)、湯目、高萩、柏原、鈴木(雅)各会員
- ・本日早退ごめんなさい。 根本、木村(博)各会員

◎外部卓話者紹介—星 行夫会長

本日の外部卓話をしていただくのは勿来地区体育協会の理事長をされております藤堂隆夫様です。藤堂様は長い間クレハに勤務されて定年退職後に体育協会でお仕事をされています。また、学校の用務員

としてもお勤めされています。藤堂さんと私はクレハの時にテニス部で一緒でした。ダブルスのペアだったこともあり、職場も一時期一緒だったので私は前から知っていましたが、体育協会で活躍されているのは知らなくて2回中止になった駅伝大会の3回目を来年計画されているということでその辺の話も聴けるとと思います。

◎外部卓話



勿来地区体育協会

理事長 藤堂 隆夫 様

皆さん、こんにちは。只今星会長さんからご紹介をいただきました勿来地区体育協会の藤堂です。星会長から直接勿来地区体育協会の活動について話をして欲しいと連絡を受けました。勿来地区体育協会は金栗杯勿来の関マラソン大会が無くなった後、目立った活動は無く駅伝大会を企画し開催予定がコロナの影響で第1回、第2回と中止となり来年1月29日(日)に第3回勿来地区駅伝大会に向けて只今準備進行中であります。この駅伝大会に協賛していただいた企業の方も勿来ロータリークラブさんには大勢いらっしゃると思いますのでその御礼も兼ねて本日はお邪魔させていただいた次第です。それではお手元の資料をご覧ください。

勿来地区体育協会の目的

勿来地区体育協会は、勿来地区における体育及びスポーツの振興を図り、文化人としての資質の向上を図ることを以て目的とする。

事業の種類

- ①加盟種目団体の連絡調整並びに育成強化。
- ②体育大会・競技会及び講習会等の各種事業の実施。
- ③加盟団体への活動補助事業。
- ④表彰と顕彰事業。
- ⑤その他・本協会の目的達成に必要な事項。

活動方針

勿来地区体育協会(以下体育協会)はいわき市に合併前に勿来市体育協会として昭和32年5月に各競技団体が集い地域のスポーツ組織としてスタートしています。体育協会は設立から65年の中で「金栗杯」勿来の関マラソン大会等に代表される競技力向上と生涯スポーツでもある地域の健康づくり、体力の維持推進を通し勿来地区のスポーツ振興に寄与してまいりました。体育協会の主要イベントであった第1回「金栗杯」勿来の関マラソンは昭和33年に開催され、その中でいわき地区の中学生、高校生、一般の選手の方々はもとより、県内外の多くの参加を頂き、

県内屈指の大会に成長して参りました。大会は福島県対抗駅伝大会、箱根駅伝等各地のメジャー大会に活躍する優秀選手を輩出又、地域の陸上競技をはじめ、あらゆるスポーツの基本を育成する基盤を培ってきましたが、残念ながら諸般の事情により、平成23年の54回大会で幕を閉じる決定をしました。幸いにも陸上競技の土壌は引き継がれており、後継の「勿来地区駅伝大会」がスポーツを通し地域の振興・普及・向上による街づくりに貢献するための活躍を展開してまいります。一方、勿来地区体育施設の指定管理事業においては昭和56年から勿来体育館、更には平成18年から南部アリーナ・南部スタジアム・南部テニスコート・中岡市民グラウンド等を加えた6施設の指定管理業務を受託し、体育・スポーツ施設の管理運営実績を積み重ねてきました。しかしながら平成31年からの指定管理業務受託に不本意にも落選し、令和6年からの再チャレンジに準備をしているところです。

令和3年度勿来地区体育協会事業実績

1) 競技スポーツの競技力向上

加盟団体の多くが「南の森スポーツパーク」を拠点に各施設で活動し、新型コロナウイルスの感染の拡大から事業計画の中止を余儀なくされ、総事業件数41件/58件(計画)・総参加人数2,986人、体協主催は7件/18件(計画)・参加人数978人との実績として報告された。しかしながら、総事業件数は7割を超える活動実績から、この様な状況の中で事業を全て中止としている地区も報告され、勿来地区においては各加盟団体会長・理事長初め役員の方々の努力で事業活動を十分達成したと判断される。

2) 生涯スポーツの普及

解散した勿来スポーツクラブの愛好者サークルも加盟団体役員が主体となって競技力強化教室と同様、活動場所の確保も従来通り、活動を継続し普及を図っている。

令和4年度勿来地区体育協会事業計画

1) 第3回勿来地区駅伝大会開催

2) 競技会・講習会等を開催する。

競技会等の活動行事通り実施する。いわき市体育協会のホームページが開設されていることから、事業計画を広報して事業PRを図っていく。

3) スポーツ振興基金の設立 令和4年4月1日

目的…勿来地区競技スポーツの向上、渉外スポーツの普及と小中学生等スポーツ活動事業への助成金の交付。

出席状況	正会員数	36名	カード出席	2名
	本日出席会員数	28名	本日の修正出席率	83.33%